## MCPC 受賞について

財団法人原子力安全技術センター 企画部 原子力技術展開事業部

平成 21 年 3 月 19 日、「MCPC award 2009」(虎ノ門パストラル)において、モニタリング情報共有システム(ラミセス)がモバイルコンピューティング導入で成果をあげた事例として奨励賞を受賞しました。



MCPC (Mobile Computing Promotion Consortium) とは、1997年6月、総務省、経済産業省後援により、高度で経済的なモバイル・コンピューティング・システムを実現するために組織化された国内の任意団体です。過去6回、モバイルコンピューティング導入により高度なシステムを構築し、顕著な成果をあげている団体にグランプリ(総務大臣賞)、特別賞、奨励賞が贈られています。今回の当センター受賞は、GPS機能付 FOMA携帯電話を使って高速データ通信可能なアプリケーションを開発したことが評価されました。



(携帯電話画面イメージ)

## アプリケーション機能の概要

屋外にて測定した環境放射線(ガンマ線、中性子線)線量率を、携帯電話を利用し、原子力センター等の自治体基地局へ送信する装置であり、以下の機能があります。

- ・付属の GPS 受信機から測位情報 (緯度、経度)を自動入力し、現在位置と測定予定位置との差から候補地を選べる。
- ・各入力項目は候補リストからの選択入力、手動入力が可能。
- ・環境試料(水、牛乳等)の採取、積算線量計の設置・撤去情報も送信可能。
- ・送信情報の管理機能、測定候補地等の管理機能も付随。
- ・カーナビ機能もあり、測定予定地点へ案内することも可能。

NTT ドコモの携帯電話サービス (FOMA) 法人向けリモートアクセスサービス (ビジネス mopera) NTT 東日本のフレッツ ADSL サービスを統合利用し、通信環境を実現しました。